

多摩川洪水版

多摩川洪水版について

多摩川洪水版は、国土交通省京浜河川事務所が平成28年度に公表した「多摩川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」（想定雨量：多摩川流域の2日間総雨量588mm）をもとに、台風や大雨時に**多摩川の堤防が決壊し、洪水が発生した場合**の浸水想定区域や浸水の深さ、洪水による家屋等の倒壊の危険がある区域、避難所等を示したものです。

河川の洪水予報

洪水予報は、大雨により河川の増水、氾濫が発生するおそれがあるときに気象庁と国や都が共同して発表する防災情報です。世田谷区では、多摩川と野川・仙川が洪水予報河川として指定されています。

※野川・仙川については、氾濫危険情報のみ発表されます。

洪水予報の標題（種類）	とるべき行動	警戒レベル
氾濫発生情報	災害がすでに発生している状況。 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保。	5 相当
氾濫危険情報	避難指示の発令に留意する。 避難指示が発令されていなくても自ら避難の判断を。	4 相当
氾濫警戒情報	高齢者等避難の発令に留意する。 高齢者等以外の方も避難の準備をしたり、自ら避難の判断を。	3 相当
氾濫注意情報	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認。	2 相当

警戒レベルの相当情報とは、避難の目安となる気象情報です。世田谷区は、必ずしも警戒レベル相当情報の発表と同時に、避難情報を発令するわけではありません。気象情報を参考に、適切な避難行動を取りましょう。